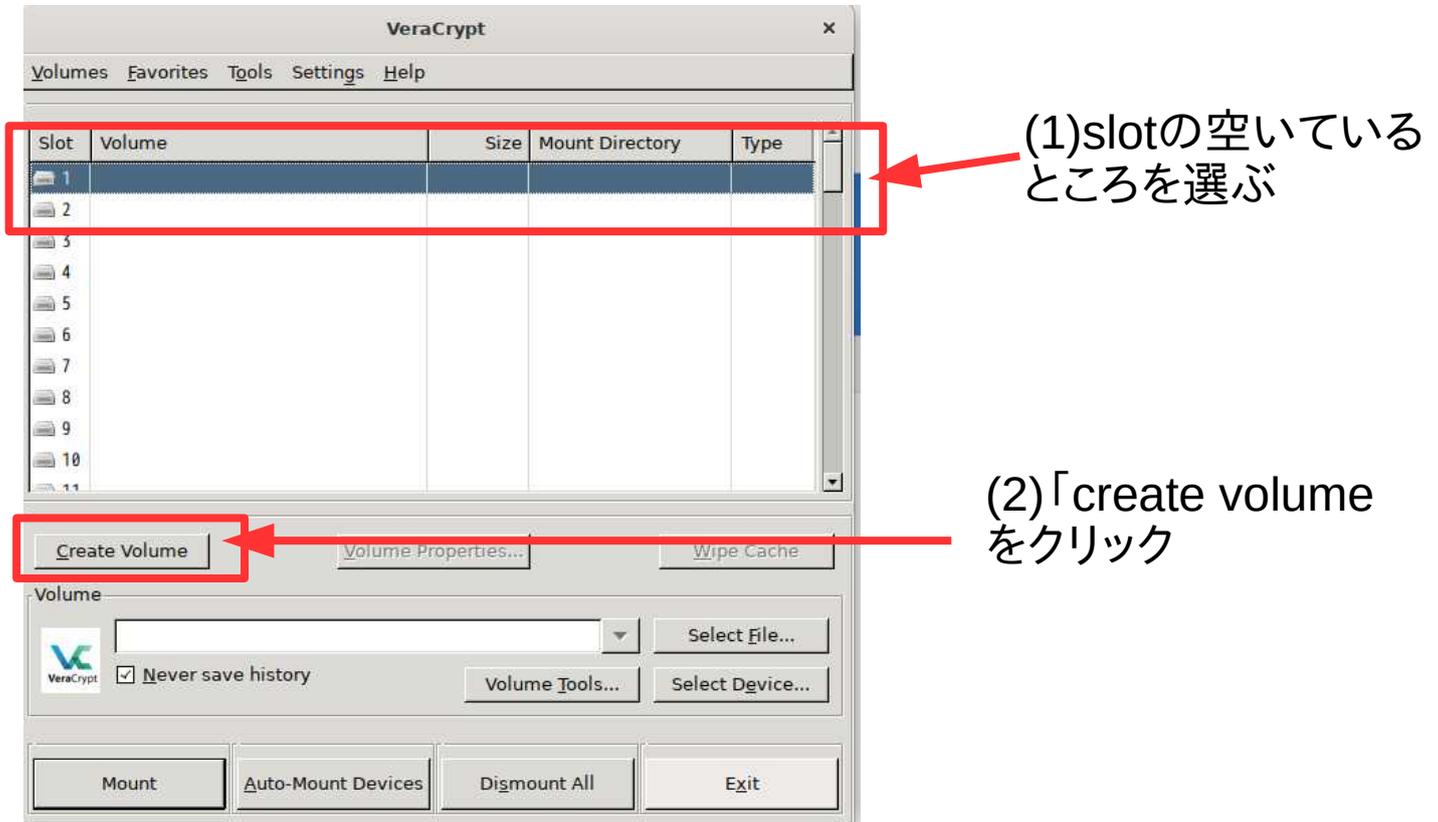


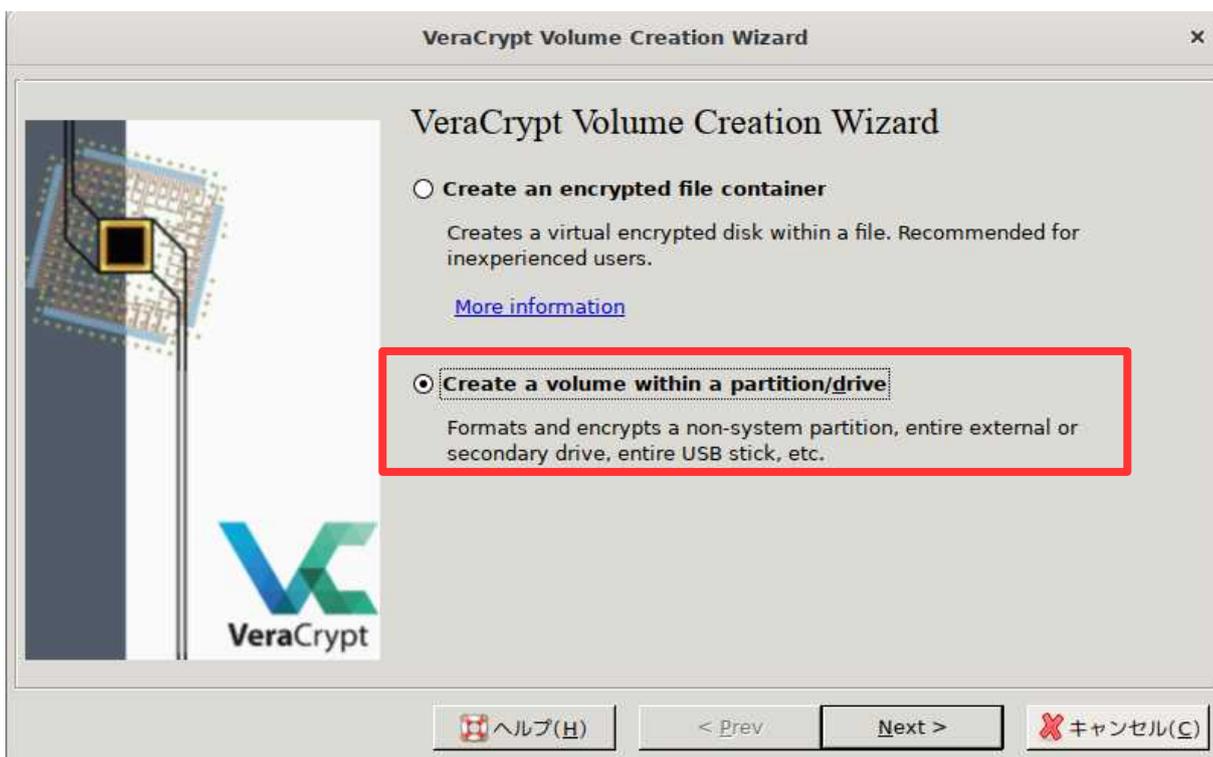
デバイスを暗号化する。(Linux版)

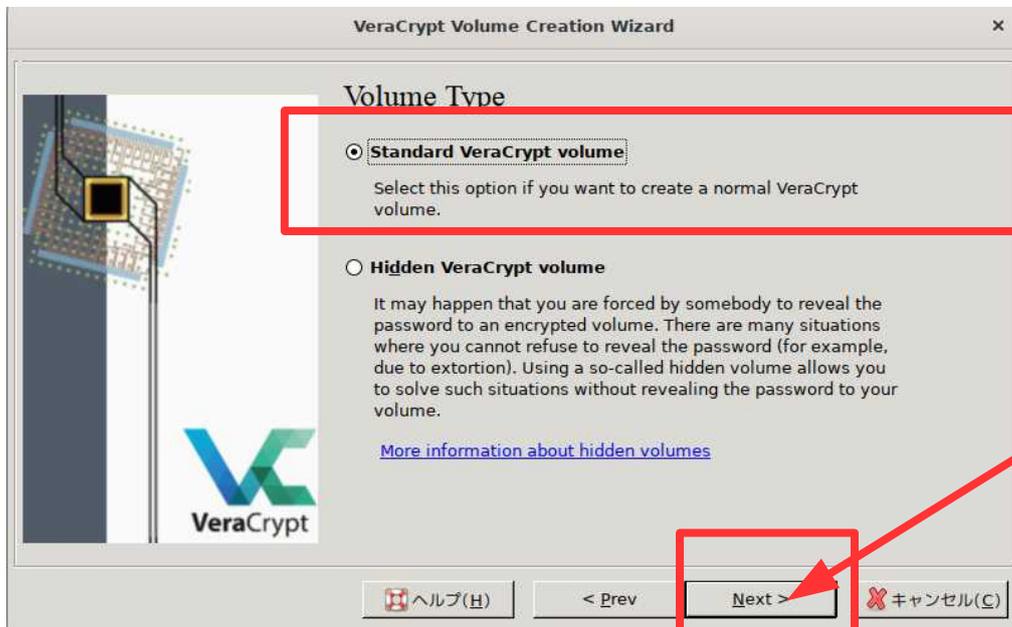
メインのコンピュータのデータを外付けのデバイスにバックアップすることを念頭に置いて説明します。

Veracryptを立ち上げます。



(3) 「Create a volume within a /partition/drive」を選択してクリック
(既定の選択肢は上になっています。必ず下の選択肢に変更する)

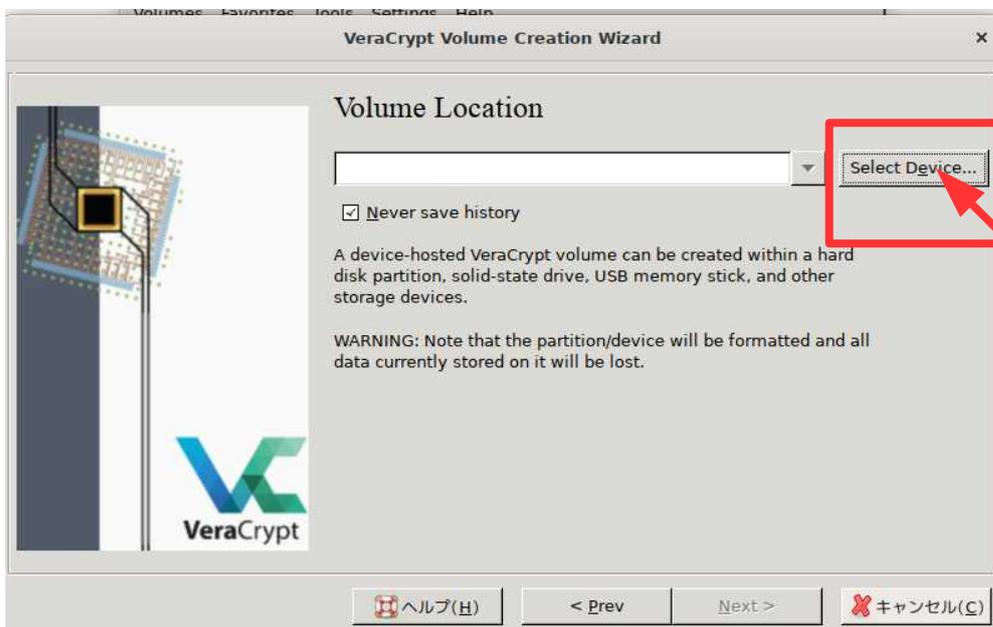




(4)Volume Typeの
選択。既定のままで
よい。「standard
Veracrypt volume」

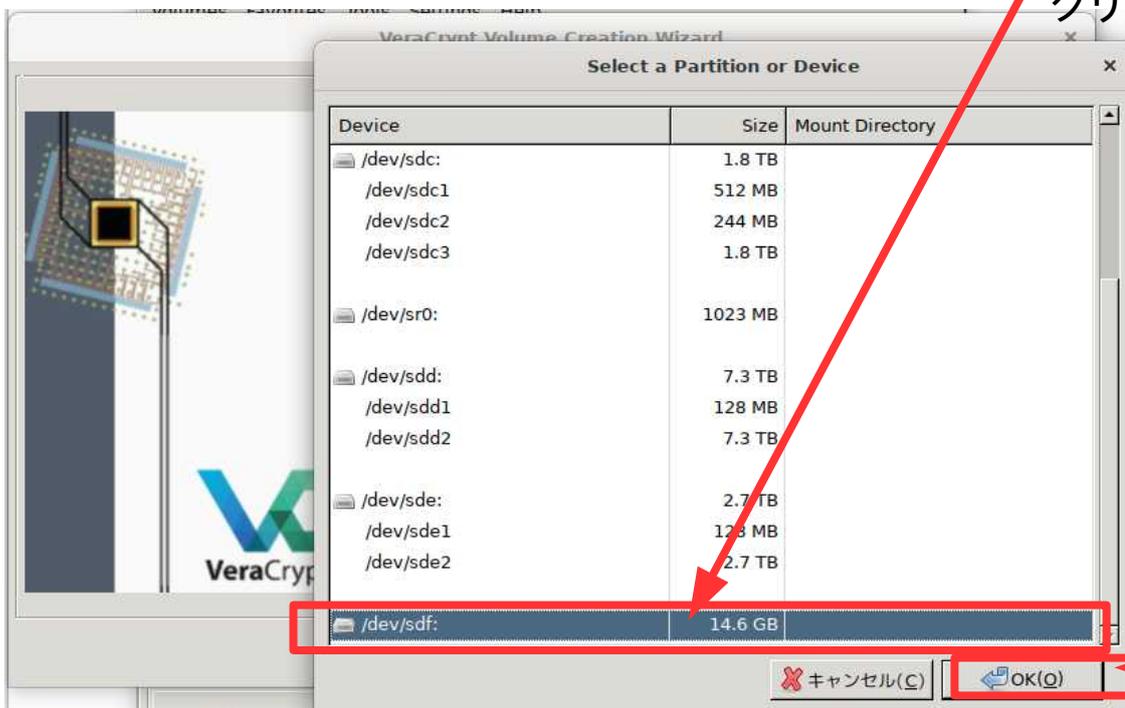
(5)nextをク
リック

次に進む前に、バックアップ先のデバイス(HDなど)がすでにパソコンに接続されていることを確認してください。



(6)select deviceを
クリックする。下図
のようなデバイス
一覧が表示される。

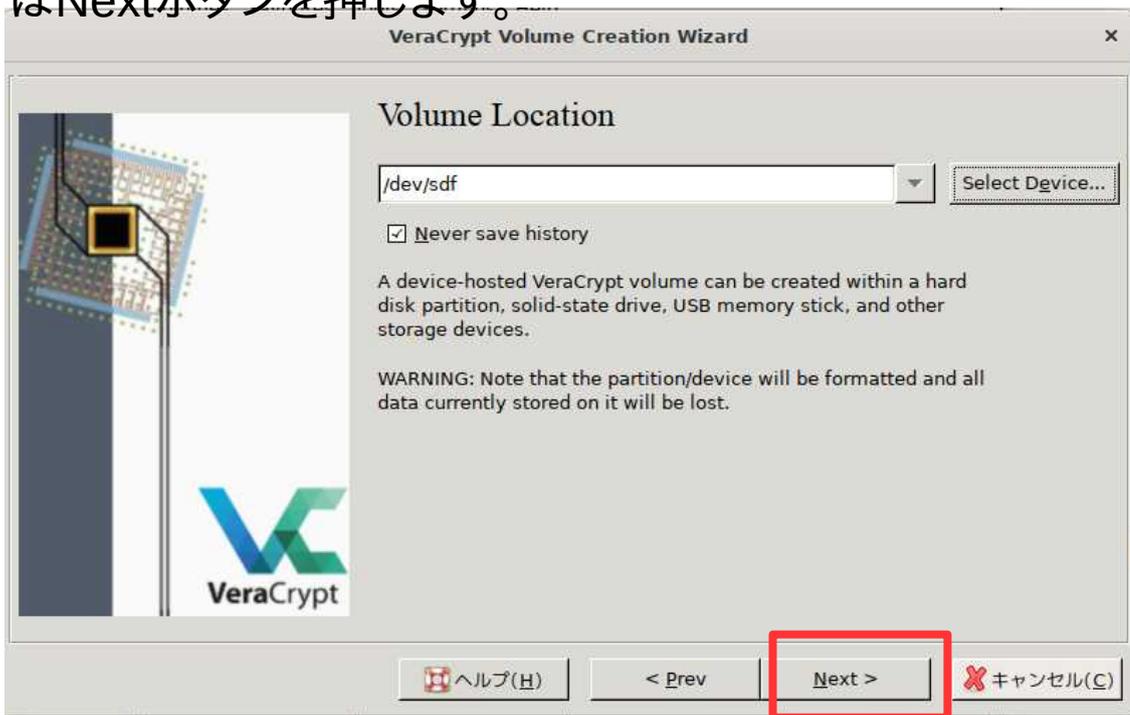
(7)バックアップ先
のデバイスを選択
して「OK」ボタンを
クリック



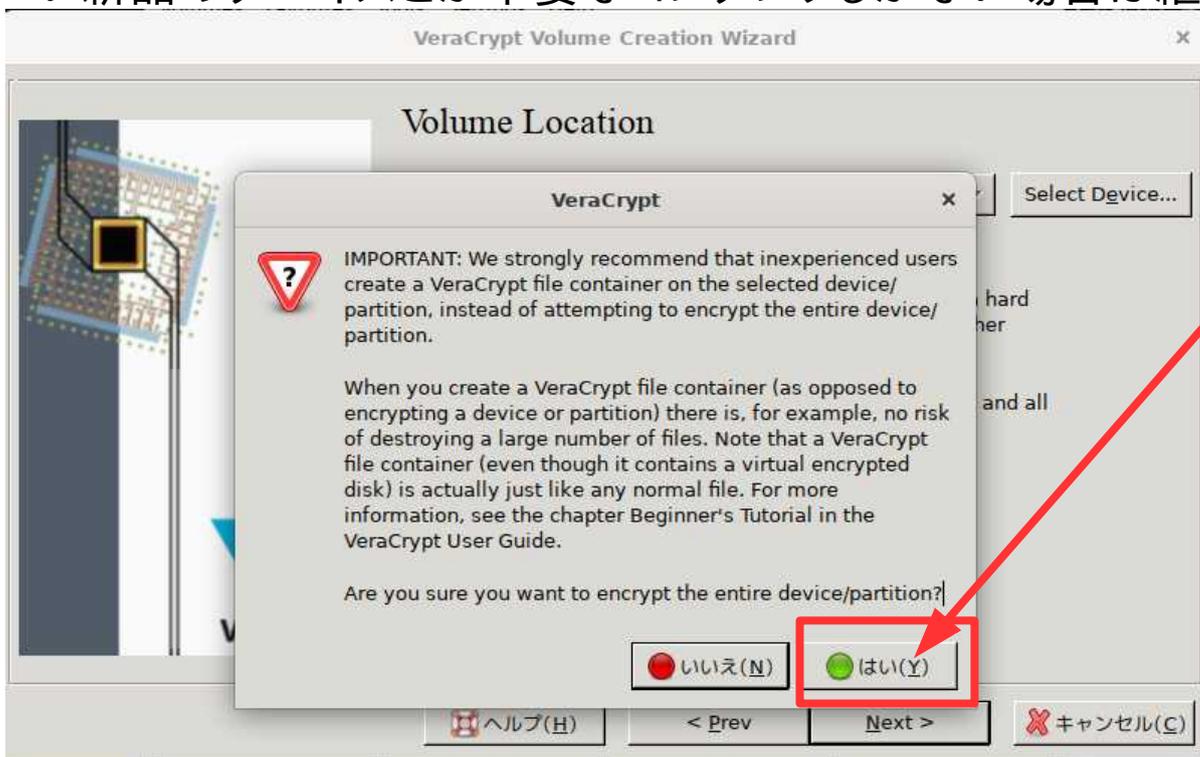
右図では一番下を選択しているが、デバイスの名称やアクセス先のディレクトリはこの図とは同じにならない。

OK

(8) 選択したボリュームの位置が表示されます。これで間違いなければNextボタンを押します。

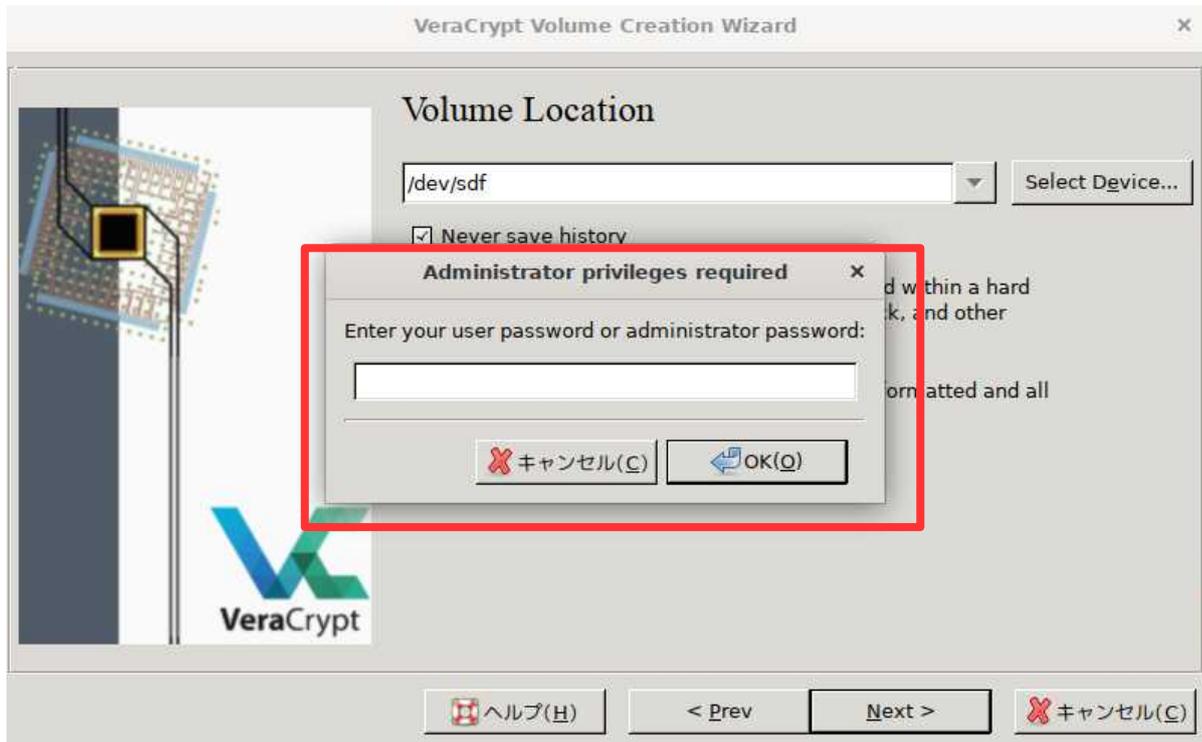


下記のような注意が表示されます。デバイス全体を暗号化すると、デバイスに既に含まれているコンテンツは消去されます。もし、消去されては困るコンテンツがデバイスに含まれている場合は、以下の作業は中止してください。(キャンセルボタンを押します)コンテンツが含まれていない新品のデバイスとか不要なコンテンツしかない場合は続きます。



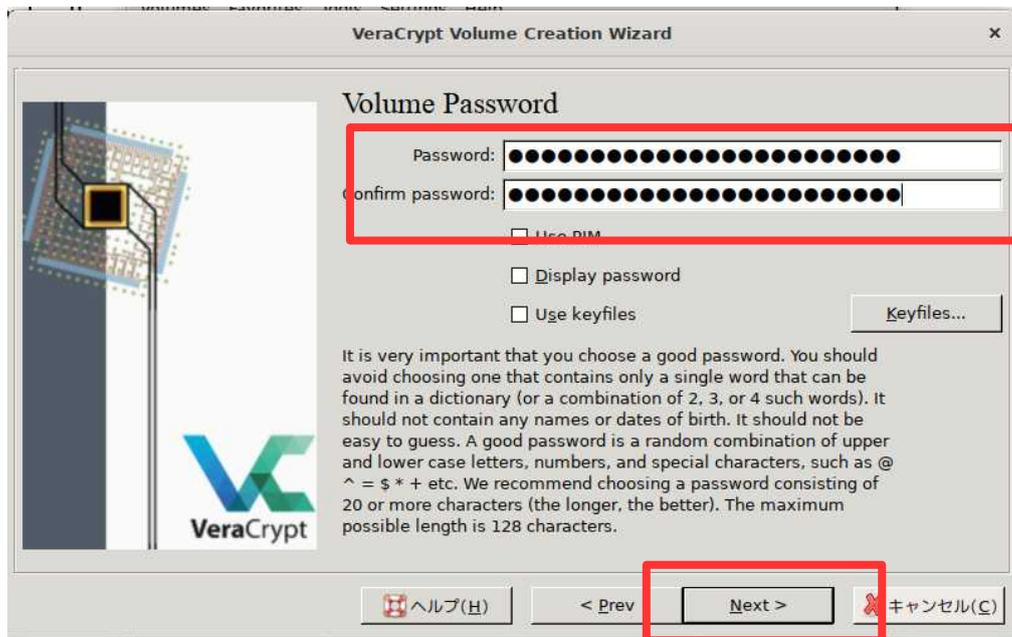
(9)はい
をクリック

(10)パスワード入力を求められるので、あなたのログインパスワードを入力し、OKをクリックします。

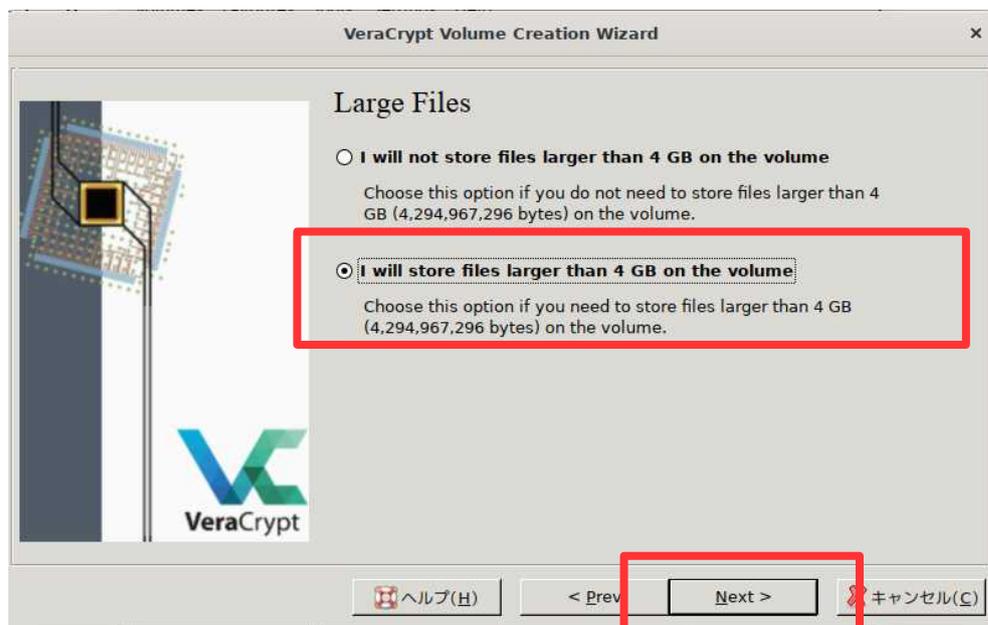


(11)暗号化するデバイスのためのパスワードを設定します。なるべく推測されにくいパスワードにするように注意書きがあります。半角英数と記号が使えます。

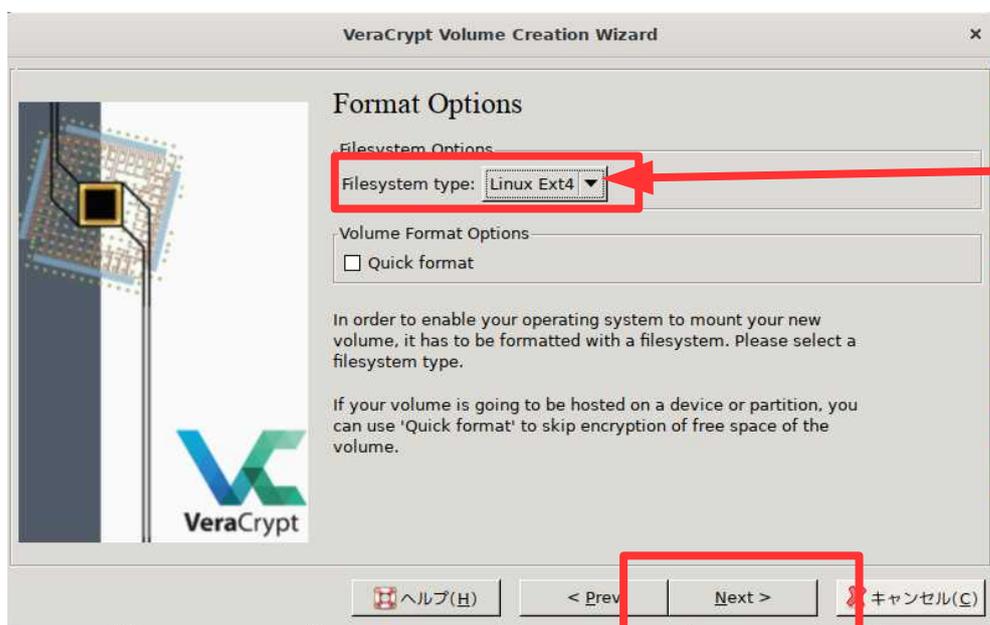




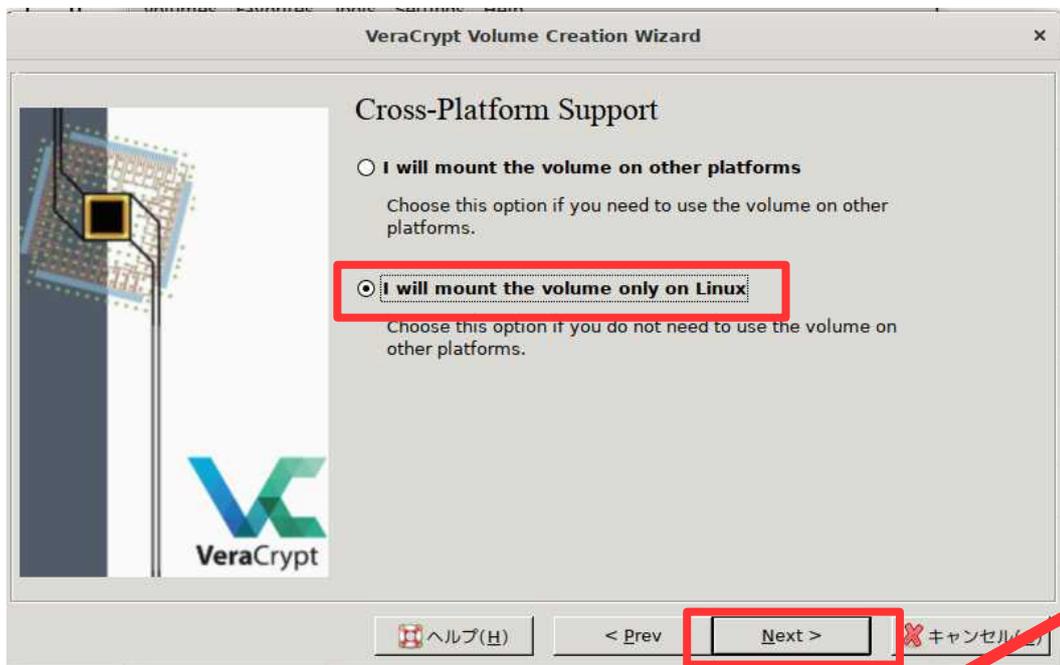
(12)パスワードを入力し、確認用も入力した後下にある「Next」ボタンをクリック



(13)動画ファイルなど容量の大きなものもありうるので、下の方を選択し、「Next」ボタンをクリック

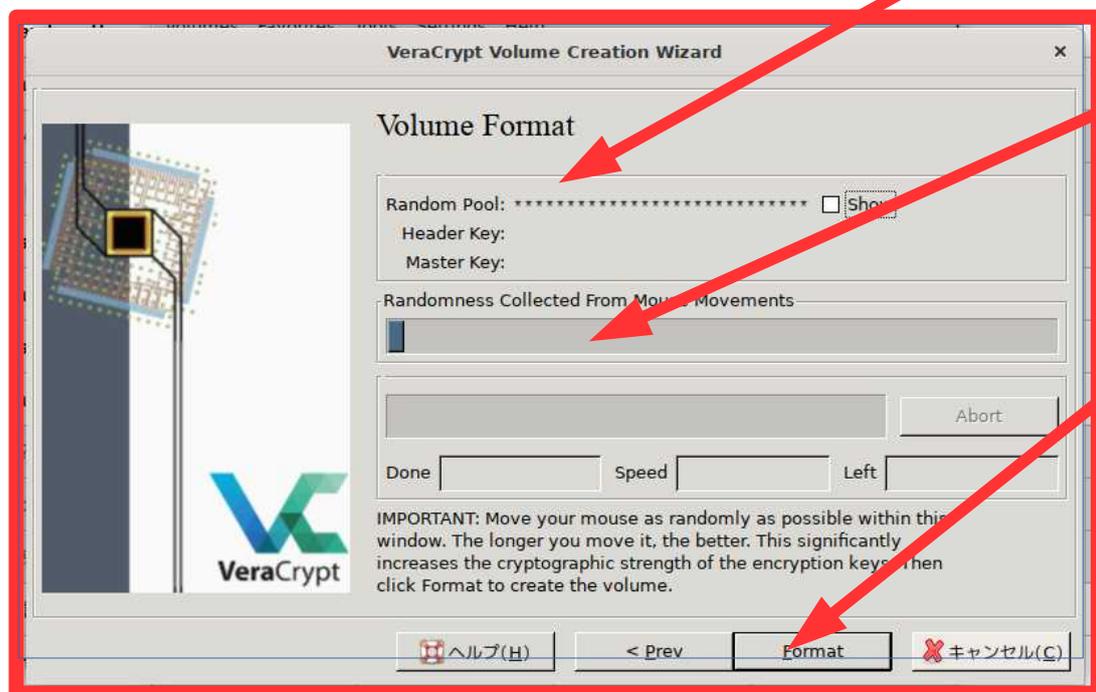


(14)ここをクリックするとプルダウンメニューが表示されます。ここでファイルシステムを選択します。Linuxでの利用のみを想定しているため「Linux Ext4」を選択します。



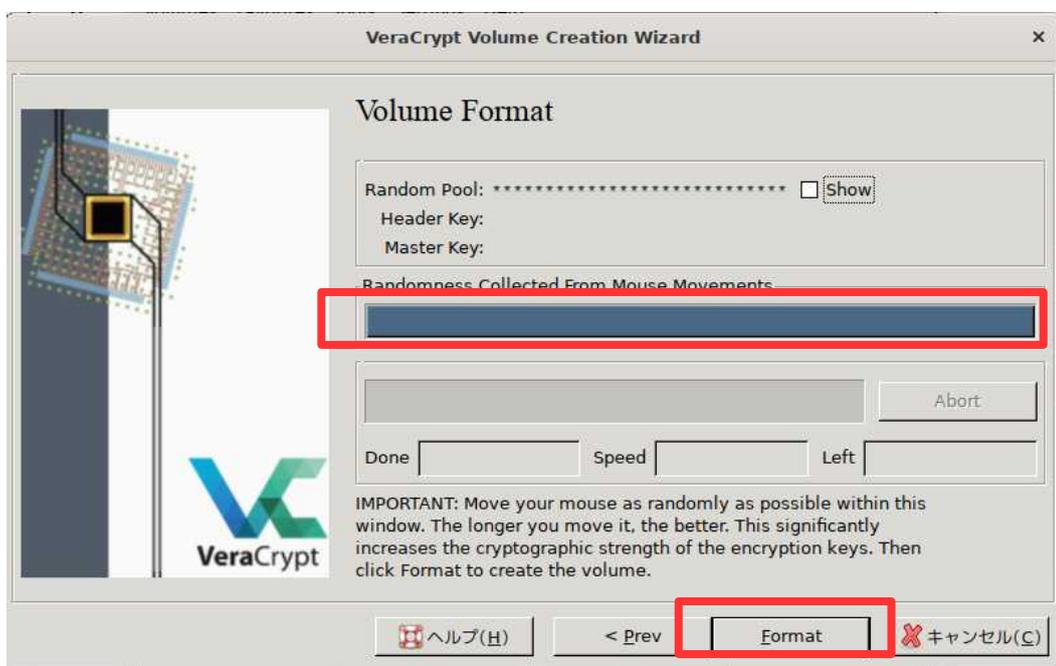
(15)Linuxでの使用を想定しているのので下の選択肢を選び、「Next」ボタンをクリック。

(16)この赤枠の中でマウスをなるべく不規則に動かし続けます。



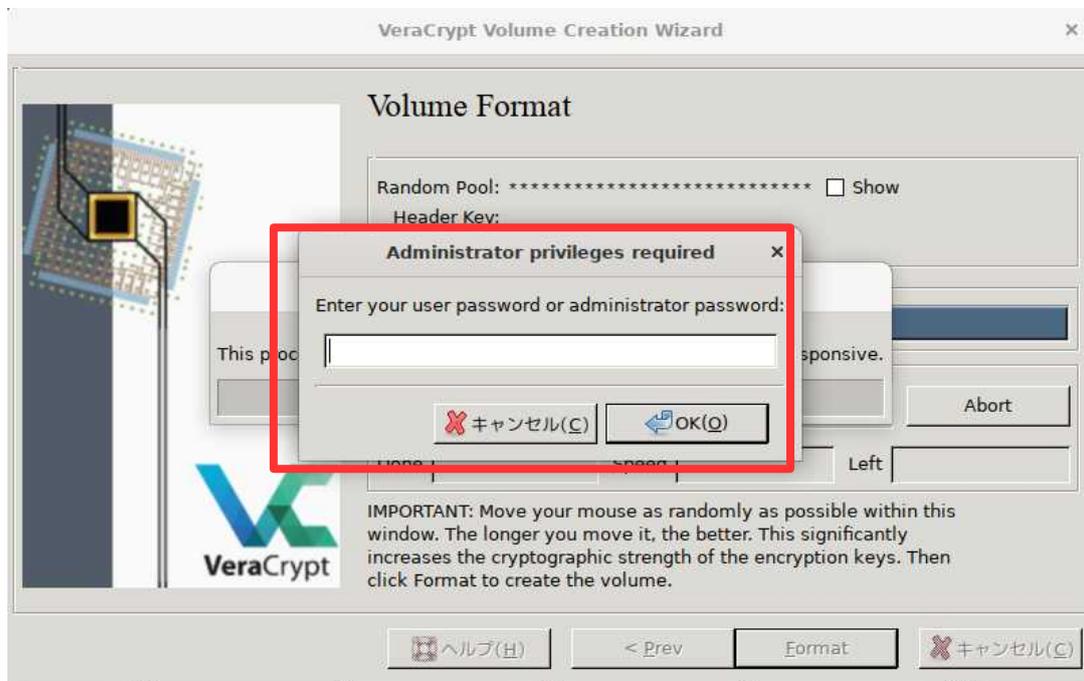
この横のバー目盛が青く変化します。このバーが全て青くなったら、

「Format」ボタンをクリック(下図参照)

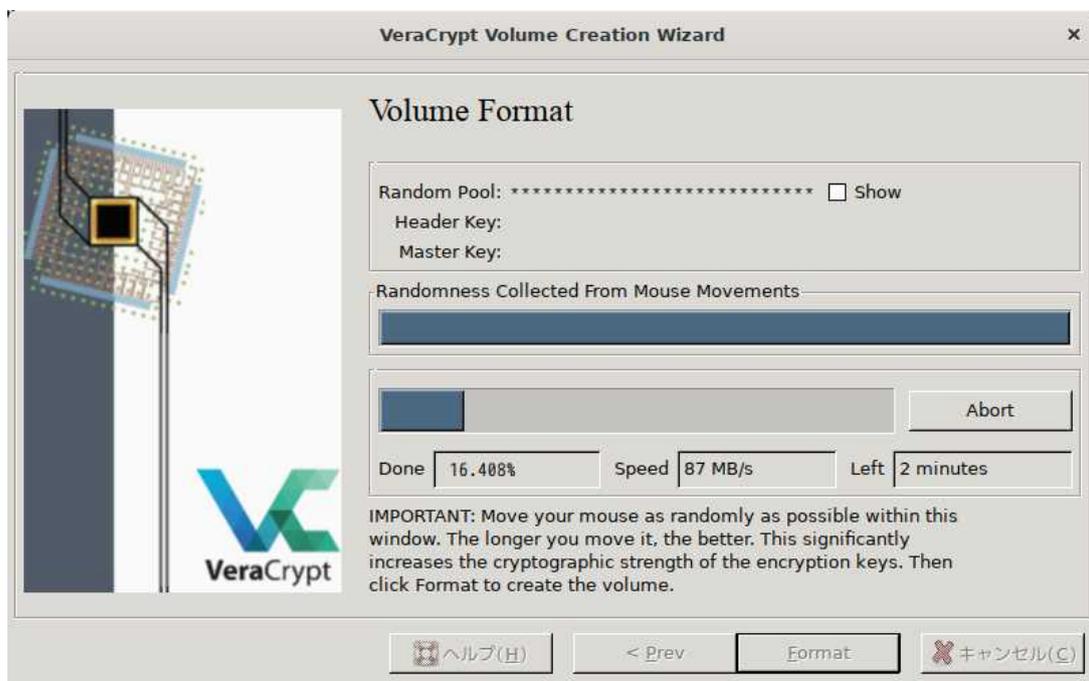




(17)暗号化しようとしているデバイスに含まれているコンテンツは全て消去されるが、それでもよいか、という最終的な確認が掲示されるので「はい」を選択してクリック



(18)パスワード入力画面が表示されます。ここにあなたのログインパスワードを入力します。(先ほど設定した暗号パスワードではなく、コンピュータを起動時にログインする際に利用するパスワードを入力します)



(19)最終的なフォーマットが開始されます。非常に時間がかかります。16GのUSBでも30分程度かかります。(パソコンの能力に依存します)ハードディスクまるごとだと数時間かかります。

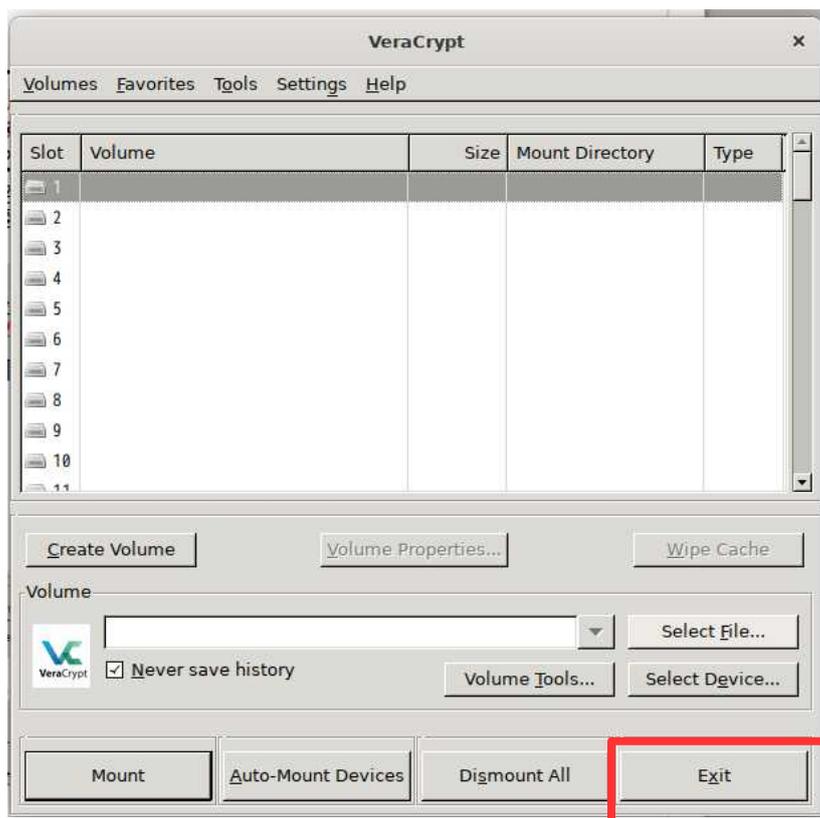
(注意)前ページ最後の画面でフォーマット作業が終了すると二番目のバーが全て青色になり、その下にあるDoneの表示が100%になりますが、実際にはまだフォーマットが終了していない場合があります。そのまま更に数分から10分くらい待ってください。

- ・デバイス側のアクセスランプが点滅しているときは作業中と判断してそのまま待ってください
- ・マウスのポインタをVeracryptの画面上に乗せたときに、ポインタの形状が変化して作業中のアイコンが表示されるようであればそのまま待ってください。

少したつと、パスワード入力画面が表示されます。ユーザーログインパスワードを入力します。その後下記の画面(The VeraCrypt volume has been successfully created)が表示されるので「OK」をクリックして作業は終了です。



その後、以下のような画面になります。ここでは「VeraCryptボリュームが作成され、使えるようになりました。もし別のVeraCryptボリュームを作成したい場合は「Next」ボタンをクリックしてください。作業を終える場合は「Exit」ボタンを押してください」という表示がでます。他に作業がなければExitボタンをクリックします。



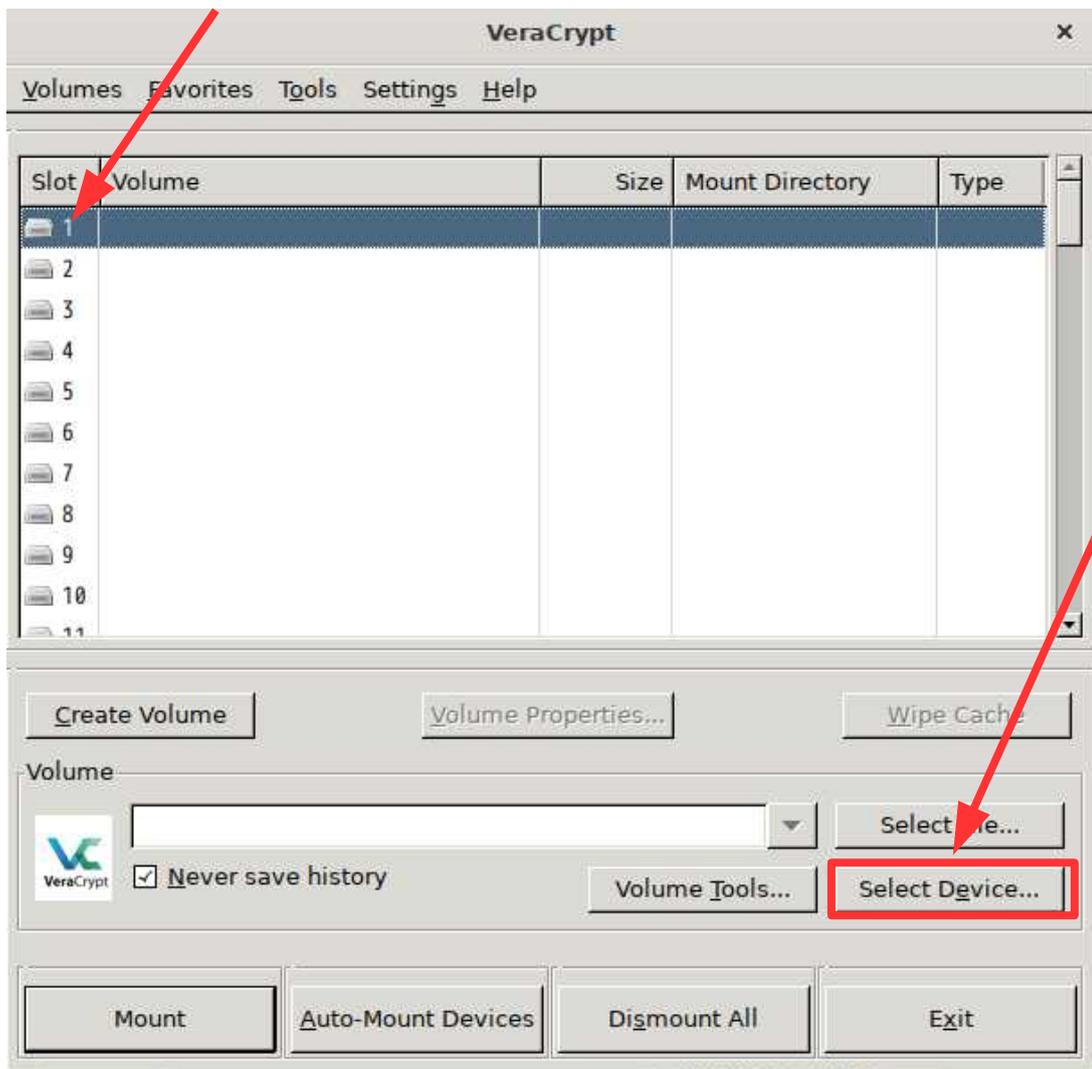
Exitをクリックすると左のような初期画面が表示されます。

ここで一端VeraCryptを閉じてもよいですが、更に、今作成したデバイスを使って、データを保存する作業を行っても構いません。次ページ以降では、作成した暗号化デバイスにデータを保管する段取りを説明します。

終了するなら「Exit」をクリックする

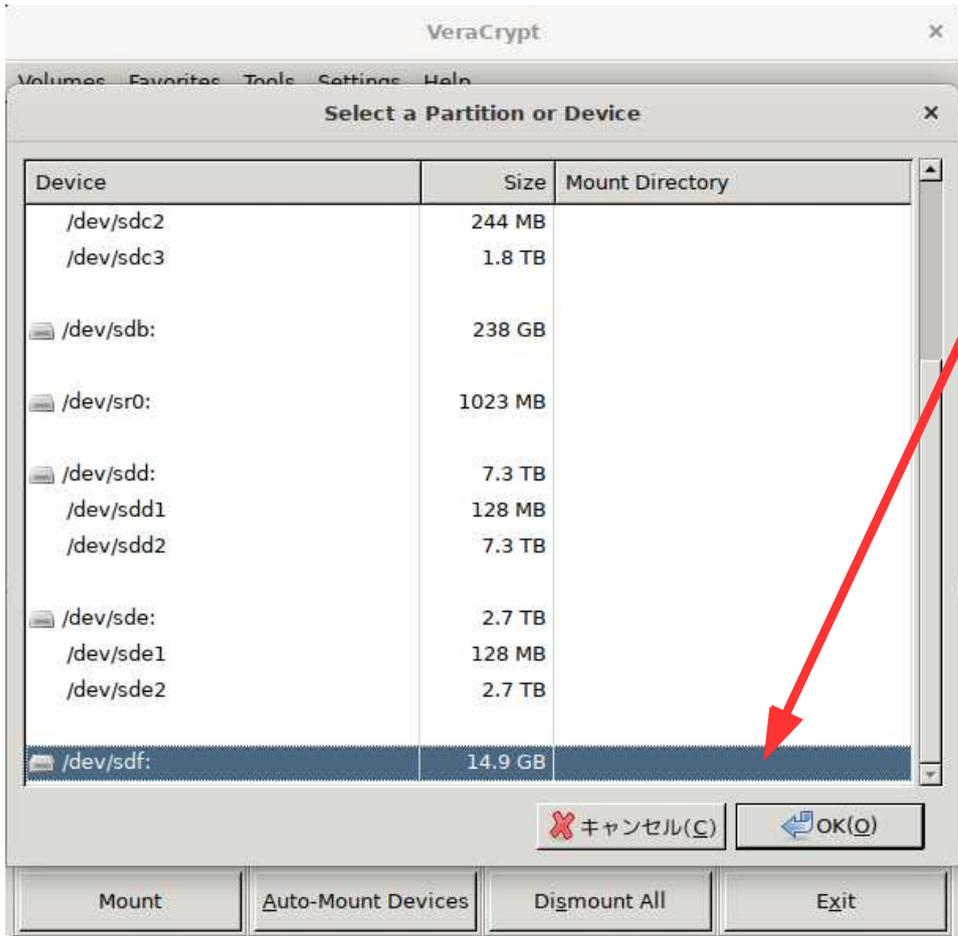
Veracryptを使って暗号化デバイスをマウントする。
Veracryptを起動させると下記のような画面になります。暗号化されて
いるデバイスを使えるようにするには、

(1)空いているslotを選択します。
下図ではslot1を選択中

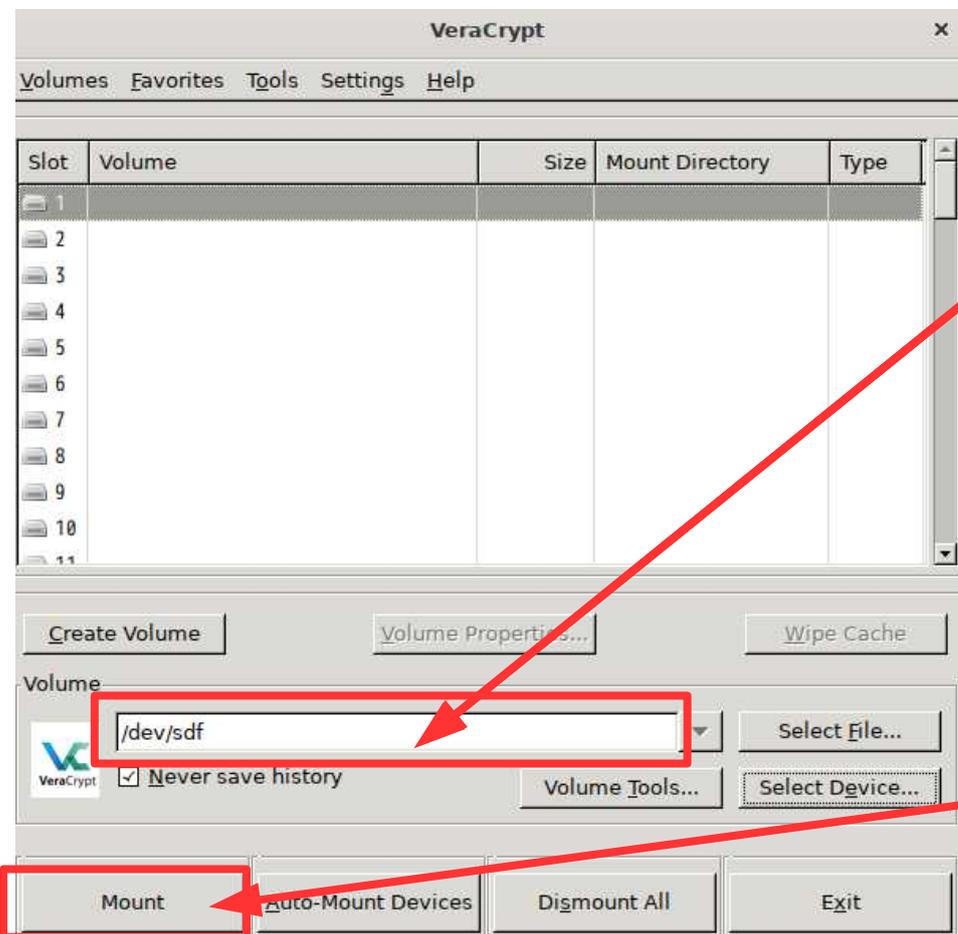


(2)「Select Device」のボタンをクリック

VeraCryptで暗号化したデバイスを選択します。

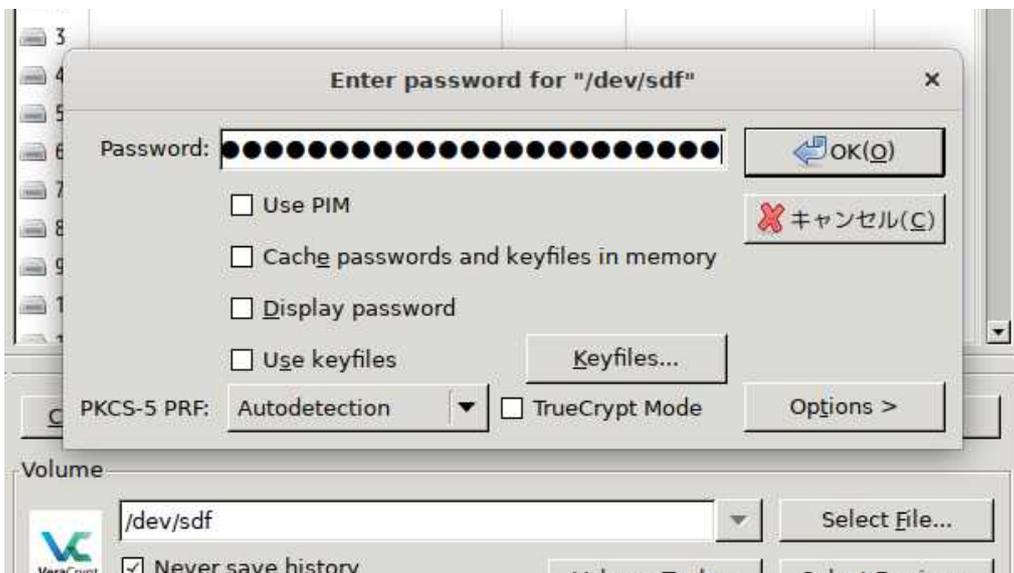


選択したデバイスが青色表示になります。



選択したデバイスの名称が表示されます。

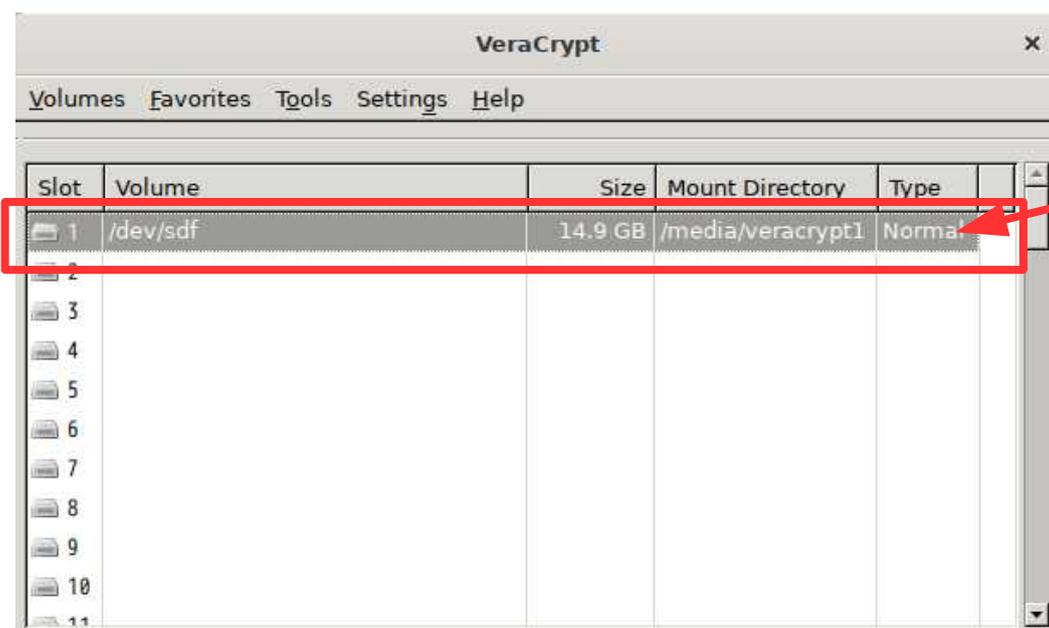
間違いなければ「Mount」ボタンをクリック



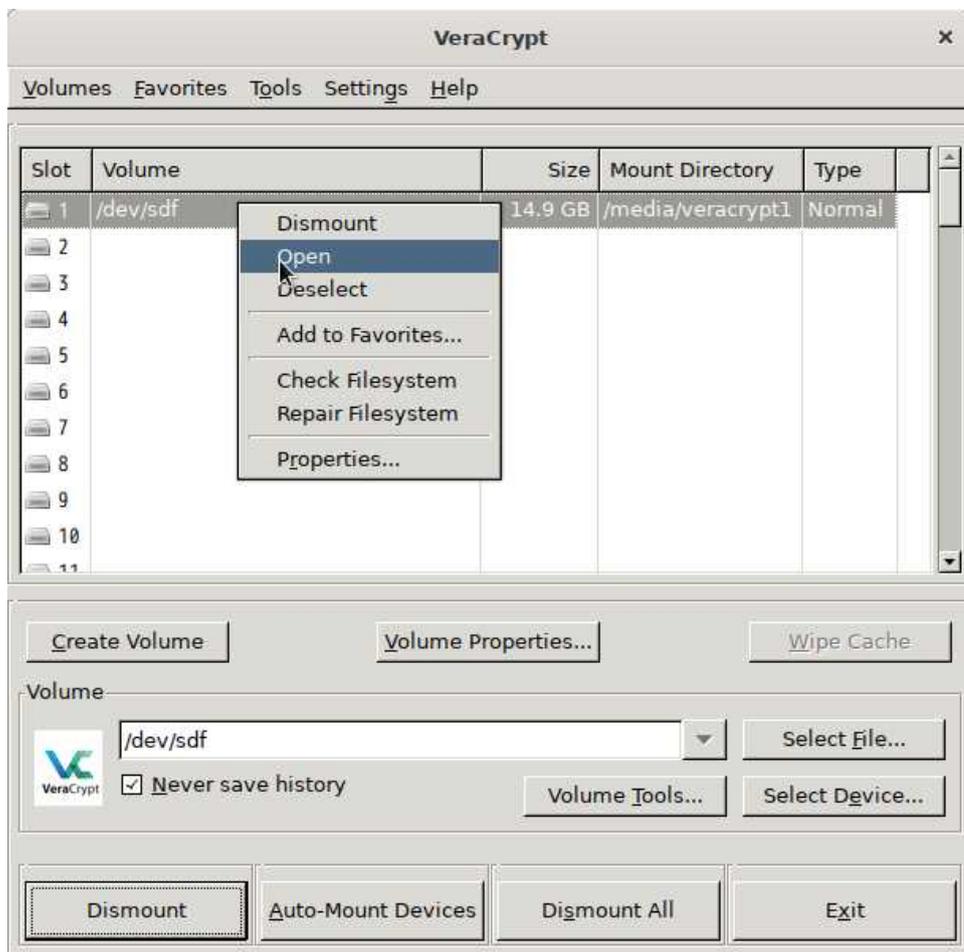
暗号を解読するためのパスワードを聞かれるので、入力します。



続いてログインパスワードを聞かれるので、自分のログインパスワードを入力します。



slot1にマウントしたデバイスの名称やマウントした場所などが表示されます。



表示されたデバイスの場所にマウスのポインタをあてて右クリックすると左図のようなメニューが表示されます。ここから「open」を選択するとデバイスがマウントされて、他のフォルダー同じように使えるようになります。

お使いのファイルマネージャーで、左側にデバイスの名前などが表示され、右側にマウントしたデバイスのコンテンツが表示されます。(以下は一例です)

